

第24回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第24回会合の日時・出席者・概要等については、以下に示すとおりである。

日 時：2026（令和8年）年3月27日（金）13時00分～15時00分

場 所：大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（第2~4号委員、規程順・五十音順、敬称略）

田中琢哉、舟橋孝之、三宅 卓、箸本史朗

研究科教員

梶原武久、上林憲雄、松嶋 登（第1号委員）

國部克彦、内田浩史、宮原泰之、服部泰宏、鈴木竜太、宮尾 学

陪 席

岡田将稔、熊谷あゆみ

初めに、國部研究科長から、加護野忠男論文賞の書籍化について報告があった。また、経営学研究科現状と課題について、令和7年度の取組み概要として、経営データ科学教育プログラム5年一貫コース、KIBER・KIMERA、KIMAP、対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム、および、2026年度からビジネス価値共創・起業家教育プログラム（KEEL）を進めていくことについて説明があった。さらに、経営学研究科の総収入における国の運営費交付金と外部資金の比率について説明があり、産学連携関係の2025年度の成果と2026年度の課題について説明があった。

次に、松嶋 MBA 教務委員から、2025年度 MBA プログラムについて、2025年度のケース・プロジェクト、テーマ・プロジェクト、修士論文プロジェクト、修了者アンケート、2026年度入学試験の結果、MBA 体験フォーラム、MBA 受験者アンケート等について説明があった。

次に、國部研究科長から、ネットワーク型大学院構築事業について、プログラムの概要と進捗、プログラムの修了要件、評価指標、対話型価値共創演習、BVCC インターン、国際シンポジウムについて説明があり、今年度初めて修了生を出すことについて報告があった。

次に、鈴木次期研究科長から、ビジネス価値共創・起業家教育プログラム（KEEL）について、KEEL プログラムの概要、KEEL/BVCC プログラムの全体像、特徴、科目群、開設シンポジウムについて説明があった。

これらの報告の後、本研究科が取り組んでいる内容に関してアドバイザー・ボード委員から、アンカー・シップ・パートナーズとの取り組み、修了者アンケート、文系起業家の育成、BVCC プログラム、リスクの問題、AI の問題、KEEL プログラム、求められる人材像、修了者アンケートにある「会社法の授業がないのは残念」については、やってみてはいいのでは等、多岐にわたるアドバイスやコメントがあり、出席者による活発な意見交換が行われた。